

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者の方 300円

開催日 2022年2月4日、11日、18日、23日、25日

★4日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、カルピス、牛乳

配布 キットカット、干し芋、レトルトカレー

参加者 こども 7名 保護者の方 4名

★11日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りヨーグルトケーキ、カルピス、牛乳、トロピカーナ100%ジュース(オレンジ、リンゴ、パイン、マンゴー、ぶどう)

配布 キットカット、干し芋

参加者 こども 5名 保護者の方 3名

★18日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りヨーグルトケーキ、手作り酒粕ケーキ、カルピス、牛乳、トロピカーナ100%ジュース(オレンジ、リンゴ、パイン、マンゴー、ぶどう)、カフェオレ、お茶、野菜ジュース

配布 キットカット、干し芋、豆乳クッキー

参加者 こども 16名 保護者の方 5名

★23日 11:30～19:30 「カレーの日」 (コロナ対策で予約制)

食事 チキンキーマカレー ※卵、乳、小麦粉は不使用

配布 お米、ホットケーキミックス、サラダ油、ドレッシング、ドリアソース、レトルトカレー、フルーツ缶詰、たまごスープ、コーンスープ、トロピカーナ100%ジュース(オレンジ、リンゴ、パイン、マンゴー、ぶどう)、野菜ジュース、紙パックのお茶、アンパンマンジュース、ぱりんこ、チョコバー、干し芋、キットカット、豆乳クッキー、生理用品

参加者 こども 19名 保護者の方 11名

★25日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りバナナパウンドケーキ、手作りヨーグルトケーキ、蕎麦ぼうろ、カルピス、牛乳、ココア、トロピカーナ100%ジュース(オレンジ、リンゴ、パイン、マンゴー、ぶどう)、カフェオレ、お茶、野菜ジュース

配布 無し

参加者 こども 11名 保護者の方 2名

ご支援 お米 5kgx3、10kg、2kg、20kg、1合=3名、5合=1名

ホットケーキミックス 6袋、缶詰 4缶、トロピカーナ 100%ジュース(オレンジ、リンゴ、パイン、マンゴー、ぶどう)90本、たまごスープ 4袋、ココア 70杯、蕎麦ぼうろ 1袋、コーンスープ 1箱、クラムチャウダースープ 1箱、ドリアソース 2袋、ホットケーキミックス 4袋、クッキー 1缶、味噌ラーメン 1袋、かつばえびせん 1袋、ハンドジェル 3本、キットカット 6箱、レトルトカレー 60食、お弁当容器 180組、ポリ手袋 4箱、アンパンマンジュース 30本、ぱりんこ大袋 1袋、チョコバー 30本、しょうゆ 1L、かんたん酢 1L、紙パックお茶 7本、野菜ジュース 7本、フルーツジュース 3本、ペットボトルお茶 4本、ペットボトルジュース 4本、缶ジュース 1本、サラダ油 4本、ドレッシング 3本、豆乳クッキー 1袋、あられ 1袋、生理用品 1ケース、パックごはん 20食、干し芋 30袋、干しぶどう 1kg
缶バッジ 6個 1,800円、寄付金 5,000円

今月、配布した食品などについて、お米 17kg、ホットケーキミックス、ジュース類、お菓子、乾物類をご参加いただいた方に配布しました。今月は個人のサポーター様の他に、フードバンクさん、神戸物産さん、ネスレ日本さん、エフピコさんと企業や団体からの食品などの寄贈をたくさんいただきました。

Amazon さんのみんなで応援プログラムでの欲しいものリストによるご支援も

東北、関東、中国地方の方々よりご支援をいただきました。定期的に遠方から食料を送ってくださるサポーター様、何度もお店に足を運んでいただいてお米などご支援いただけたサポーター様が少しずつ増えてきて活動継続の支えになっています。本当に心強く感謝しています。支援していただいた食品が届くたびに、こども食堂のドリンクメニューが充実して、参加者に配布できる食品も増えていきました。子どもたちがたくさんの飲み物から好きなものを選べる楽しさを感じていることは、選んでいる時のキラキラした目を見ていると伝わってきて、私たちまで楽しい気分になります。

今月は8か月の赤ちゃんから12歳の子どもと保護者の方、延べ83名が参加されました。おやつのじかんは手作りのおやつを2~3種類用意するようにして、おかわりする時に違うおやつが食べられるように工夫しました。カレーの日は事前予約+αのカレーを準備しました。今月は当日参加希望者にも店内飲食とお持ち帰りで希望者全員にカレーを食べてもらうことができました。先月の活動報告でも書きましたが、私たちは食品ロス削減の取り組みとの両立を意識し活動しています。参加者の方に前日までに予約をしてもらえば食材の準備にロスがなくなり運営の助けになります。

京都市図書館のブックリサイクルでいただいた絵本5冊が増えました。「新しい絵本だ」「この絵本は前には置いてなかった」「この絵本保育園にもあるよ」など子どもたち的好奇心や記憶力に驚かされました。食事の後にお母さんの膝

の上に座って絵本を読んでもらっている子どもさんを見ていると、リラックスしてもらえているなと感じました。コロナのオミクロン株による感染急拡大が収束しない中、今までの感染対策に加えて、人数制限をしながらの店内飲食での開催でした。開催方法についてはギリギリまで迷いましたが、楽しみにしている子どもたちの気持ちを大切にしたいと考え、今回も店内飲食か弁当の持ち帰りの2択として、保護者の方にもそれぞれの状況を踏まえた判断をしていただき、各自が最善の方法を取れるようにしました。

2月14日に【コロナ緊急支援】食料品をお届けします をSNSで呼びかけました。これはコロナに感染した方や濃厚接触者、身内がコロナ感染者となり介助が必要になった方など買い物に行くことが出来ず、自治体からの支援の食品が届かなくて困っている人が多くいるとニュースで観たことがきっかけで、私たちの手元にある食料品を、今必要な方にお届けしようと考えました。結果については、とてもセンシティブでご本人の希望もあるので詳細な内容の公表はいたしませんが、食料品のお届けが出来たことだけお知らせします。直接の接触はせず、玄関ドアの前に食料品などの支援物資を置いた後に電話で受け取られたことを確認しました。お届けの5日後に自治体からの支援の食品が届いたと聞いて安心しました。

今月は本当に多くの米や乾物、ジュースなどの保存食をご支援いただけたので参加の方にお配りし、大変喜んでいただくことができました。ご支援い

ただいた方々に改めて感謝申し上げます。

今月は5回の開催でしたが、複数回参加される方が増えてきてカーヤこども食堂が皆さんの中場所になれてきたのかな?と思えるようになりました。私たちの活動や子ども食堂の存在を知ってくださり理解して応援していただけの方が増えてきて、うれしく思います。こども食堂は貧困対策としての役割だけではなく、多くの子どもや保護者の方に安心できる居場所として必要とされているということを改めて感じました。私たちは活動を長く続けていけるよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。

カーヤこども食堂運営委員会

木村